

史実を後世に伝える
sora かさい 徹底ガイド
 4月18日にオープンした「sora かさい」。実物大模型から巨大スクリーンでの映像もあり迫力満点！今月号では予約が取れなかった方のために、館内をご案内します。

技術ゾーン

実物大模型を間近で見よう！



400インチのスクリーンでは出撃前の若いパイロットの写真も映し出される。



紫電改の操縦席実物大模型。座席は計器類等、詳細に作られている。

紫電改・九七艦攻

「紫電改」と「九七艦攻」の実物大模型。2機が並ぶと迫力満点。



これが4面ストーリーウォールだ。



秘書課 石田さん

ショップ&カフェ

お土産コーナー



旅行の思い出にも、お土産に最適な「お土産」。加西の特産品やグッズも豊富。ここでしか買えない帽子やTシャツは見逃さない！



オリジナル地場産品珈琲「玄神（げんしん）」

北条高校と大学が連携して企画開発。加西市で育った神戸大玄米を使用し、まろやかで深みのある味に仕上がっています。



sora バーガー

加西産トマトとレタスを挟む。果肉感、シャキシャキ感を味わって。



カフェコーナー

観覧後にはカフェにどうぞ。加西市産の野菜を使ったsoraバーガーやカレー、鶉野をイメージしたドリンクなど軽食も充実。



青空レモンスカッシュ

平和な穏やかな加西の青空をイメージしました。

《営業時間》

- ショップ/9時～18時
- カフェ/10時～17時
- フードL.O16時30分



フロアは平和の「H」の形をしているんだ。



歴史ゾーン

4つの歴史を4面のストーリーウォールで解説を



- 物語 -
飛行場建設にかかる出来事や当時の資料などを紹介しています。



- 記憶 -
海軍で使われていた衣服や装備品などを紹介しています。



- 飛翔 -
紫電、紫電改の設計資料やタイヤなどの実物の部品も展示しています。



- 継承 -
当時を知る証言者たち。椅子に座ってゆっくり聞けます。

- 生命 -
「白鷺隊員」が遺文と名前を記した落下傘の複製品などを展示しています。

鶉野での空襲 忘れない

昭和18年1月に川西航空機製造所に入社した小谷裕彦さん。川西航空機で紫電、紫電改の生産に従事しており、当時の鶉野を知る数少ない証言者のひとりです。小谷さんは、組み立て工場、主にフラップ部分の油圧関係の仕事を担当していました。「1機作るのに5日ぐらいかかる。完成したら軍艦マーチを流して祝うんです」。当時の思い出を語ってくれました。続けて「フラップ部分の伸縮動作が上手くいかず作り直しも多かった」といって徹夜で作業することも多々あったといいます。小谷さんが工具時代に使用していた工具箱は「sora かさい」に展示してあります。



当時の鶉野を知る証言者

川西航空機鶉野工場で生産に従事
 小谷 裕彦さん(96)



額の寄付をいただき、感謝状を贈呈しました。西村市長は多額の寄付をいただき、感謝状を贈呈しました。

九七式艦上攻撃機製作への思い

脱線事故の伯父との縁

加西市特別顧問
 三枝輝行さん(81)

令和2年8月、加西市特別顧問である三枝輝行さんより、九七式艦上攻撃機実物大模型の製作事業のために、2千万円のご寄付をいただきました。4月13日、「sora かさい」の竣工式に出席し、寄付をした経緯とこれからの加西市への思いについて話されました。完成した「sora かさい」について、「今、全世界に平和を真剣に考える時がきている。日本全国から鶉野に来ていただいて、平和の尊さ、戦

争の醜さを勉強してもらいたい」と話しました。寄付をした理由は2つあるといい「1つは、加西の活性化のためにお役に立ちたかった。2つ目は昭和20年3月31日に起こった北条線列車脱線転覆事故です。訓練中の戦闘機が不時着し、レールが破損。直後に走ってきた北条鉄道が脱線、転覆しました。その列車に私の伯父が乗っていました。亡くなりました。そんなご縁もありました」。